

【文章作成のテクニック】

記述式問題の設問パターン

記述式問題の設問パターン（土木分野）

2024年	(1)	・劣化の原因を推定 ・他の区間と比べて部分的に変状が著しい理由
	(2)	・変状の原因を特定するための調査項目の目的と方法を、重要な順に2つ
	(3)	・今後30年供用するための効果的な対策方法と対策後の維持管理方法

2023年	(1)	・変状の原因推定とその理由
	(2)	・対策立案に必要な調査項目の目的と方法を4つ
	(3)	・今後50年供用するための対策工を重要な順に3つ

2022年	(1)	・変状の原因推定とその理由および部分的に変状が生じていない理由
	(2)	・劣化機構を特定するための調査方法を重要な順に2つ ・対策範囲を決定するための調査方法を優先度の高い順に2つ
	(3)	・今後30年供用するために必要な対策のうち、優先度の高いもの2つ ・その内容と選定理由

記述式問題の設問パターン（土木分野）

2021年	(1)	・変状の原因推定とその理由 ・変状が局部的に進行した理由
	(2)	・対策立案のために必要な調査方法と目的
	(3)	・調査を踏まえて必要な対策を提案

2020年	(1)	・変状の原因推定とその理由 ・変状が局部的に進行した理由
	(2)	・対策立案のために必要な調査方法と目的
	(3)	・調査を踏まえて必要な対策を提案

2019年	(1)	・変状の特徴を踏まえ、局部的に劣化が進行した原因
	(2)	・今後30年供用するための維持管理計画において、計画立案に必要な調査項目および調査箇所
	(3)	・調査を踏まえて必要な対策を提案

記述式問題の設問パターン（土木分野）

2018年	(1)	・変状の原因推定とその理由
	(2)	・今後50年供用するために必要な調査項目および対策
	(3)	—

2017年	(1)	・変状の原因推定とその理由 ・変状に対する健全度の診断に必要な調査項目
	(2)	・今後50年供用するために必要な対策
	(3)	—

2016年	(1)	・道路トンネルの点検や診断を行う際の留意点2つ
	(2)	・変状の原因推定とその理由 ・健全性診断のための調査項目
	(3)	・今後50年供用するために必要な対策

記述式問題の設問パターン（建築分野）

2024年	(1)	<ul style="list-style-type: none">・変状が発生した原因を推定・ひび割れの挙動を考慮した対策を提案
	(2)	<ul style="list-style-type: none">・鉄筋の発錆状況が異なる理由・塩分濃度分布、中性化深さ、発錆に及ぼす環境条件の観点から
	(3)	<ul style="list-style-type: none">・対策立案に必要な追加調査の目的と方法・経済性を考慮した対策と目的
2023年	(1)	<ul style="list-style-type: none">・ひび割れが発生した原因推定とその理由・変状の進行度の違いの理由
	(2)	<ul style="list-style-type: none">・ひび割れ原因を特定するための調査・進行度合いに基づき対策を検討するための調査
	(3)	<ul style="list-style-type: none">・今後30年使用するための対策案
2022年	(1)	<ul style="list-style-type: none">・変状の原因推定とその理由・変状の程度の違いの理由
	(2)	<ul style="list-style-type: none">・変状の発生原因推定とその理由
	(3)	<ul style="list-style-type: none">・今後30年使用するための補修方法

記述式問題の設問パターン（建築分野）

2021年	(1)	・火害等級の判定とその理由
	(2)	・追加調査項目を重要な順に3つ ・その目的と留意点
	(3)	・今後30年使用するための補修、補強方法

2020年	(1)	・変状の原因推定とその理由 ・変状の程度の違いの理由
	(2)	・変状の原因特定のための詳細調査項目とその理由
	(3)	・今後35年使用するための補修方法とその選定理由

2019年	(1)	・変状の原因推定とその理由
	(2)	・全塩化物イオン量の分布の理由 ・分布の相違が生じた理由
	(3)	・今後20年使用するために必要な調査項目、劣化対策、対策後の維持管理計画

記述式問題の設問パターン（建築分野）

2018年	(1)	・仕上げ材の膨れの原因推定とその理由
	(2)	・ひび割れの発生原因推定とその理由
	(3)	・今後35年使用するために必要な調査項目と対策

2017年	(1)	・ひび割れの発生原因推定とその理由
	(2)	・鉄筋腐食の理由 ・中性化深さが異なる理由
	(3)	・今後30年使用するために必要な調査項目、劣化対策、対策後の維持管理計画

2016年	(1)	・変状の発生原因推定とその理由
	(2)	・変状に対する当面の対策とそのために必要な調査項目
	(3)	・今後50年供用するための維持管理計画(大規模修繕、詳細調査)

記述式問題の設問パターンまとめ

【設問1】

- ①劣化原因の推定とその理由
 - + 局部的に進行した原因とその理由

【設問2】

- ①劣化原因を特定するための調査項目、目的、方法
- ②対策立案のために必要な調査項目、目的、方法

【設問3】

- ①今後〇〇年間供用するための対策工法を提案
 - + 調査結果を踏まえて述べよ
 - + 選定理由を述べよ
 - + 対策実施後の維持管理計画の方法を述べよ